

4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成27年3月卒業者のうちの就職者総数は1,436人で、前年より60人増加している。そのうち県内に就職した者は1,020人で、前年より52人増加している。県内就職率は71.0%で、前年より0.7ポイント上昇している。

県内就職率を専門分野別で見ると、文化・教養学科を除きいずれも60%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は416人で、前年より8人増加している。県外就職の状況を就職先地方別で見ると、九州・沖縄252人(60.6%)、関東98人(23.6%)、近畿33人(7.9%)、中国19人(4.6%)の順となっている。

進学者総数は46人で、前年より4人減少している。県内進学率は60.9%で、前年より11.1ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況（専修学校〔専門課程〕）

（単位：人、％）

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月
卒業生総数	1,559	1,510	236	202	39	44	808	851	186	170
就職者総数	1,436	1,376	223	192	36	40	758	798	179	162
就職率	92.1	91.1	94.5	95.0	92.3	90.9	93.8	93.8	96.2	95.3
うち県内就職者	1,020	968	154	145	33	37	508	512	145	130
県内就職率	71.0	70.3	69.1	75.5	91.7	92.5	67.0	64.2	81.0	80.2
進学者総数	46	50	2	3	3	1	11	16	-	-
進学率	3.0	3.3	0.8	1.5	7.7	2.3	1.4	1.9	-	-
うち県内進学者	28	36	1	3	-	1	4	8	-	-
県内進学率	60.9	72.0	50.0	100.0	-	100.0	36.4	50.0	-	-
一時的な仕事に就いた者	19	8	5	1	-	-	6	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.2	0.5	2.1	0.5	-	-	0.7	-	-	-
うち県内居住者	17	8	5	1	-	-	6	-	-	-
県内居住率	89.5	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-
その他総数	58	76	6	6	-	3	33	37	7	8
その他の率	3.7	5.0	2.5	3.0	-	6.8	4.1	4.3	3.8	4.7
うち県内居住者	38	60	6	6	-	2	20	28	5	8
県内居住率	65.5	78.9	100.0	100.0	-	66.7	60.6	75.7	71.4	100.0

つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月
卒業生総数	90	86	72	63	12	12	116	82
就職者総数	80	72	66	57	7	2	87	53
就職率	88.9	83.7	91.7	90.5	58.3	16.7	75.0	64.6
うち県内就職者	75	68	64	56	7	2	34	18
県内就職率	93.8	94.4	97.0	98.2	100.0	100.0	39.1	34.0
進学者総数	9	6	3	-	-	1	18	23
進学率	10.0	7.0	4.2	-	-	8.3	15.5	28.0
うち県内進学者	7	6	-	-	-	1	16	17
県内進学率	77.8	100.0	-	-	-	100.0	88.9	73.9
一時的な仕事に就いた者	-	-	2	2	5	4	1	1
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	2.8	3.2	41.7	33.3	0.9	1.2
うち県内居住者	-	-	-	2	5	4	1	1
県内居住率	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
その他総数	1	8	1	4	-	5	10	5
その他の率	1.1	9.3	1.4	6.3	-	41.7	8.6	6.1
うち県内居住者	1	7	1	4	-	3	5	2
県内居住率	100.0	87.5	100.0	100.0	-	60.0	50.0	40.0

(2) 図8に示すとおり、平成27年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が934人(65.0%、前年に比べ4.5ポイント低下)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業129人(9.0%、同0.1ポイント上昇)、情報通信業76人(5.3%、前年と同率)の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図9に示すとおり、医療、福祉が677人(66.4%、前年に比べ2.5ポイント低下)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業94人(9.2%、同0.4ポイント低下)、宿泊業、飲食サービス業53人(5.2%、同1.0ポイント上昇)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

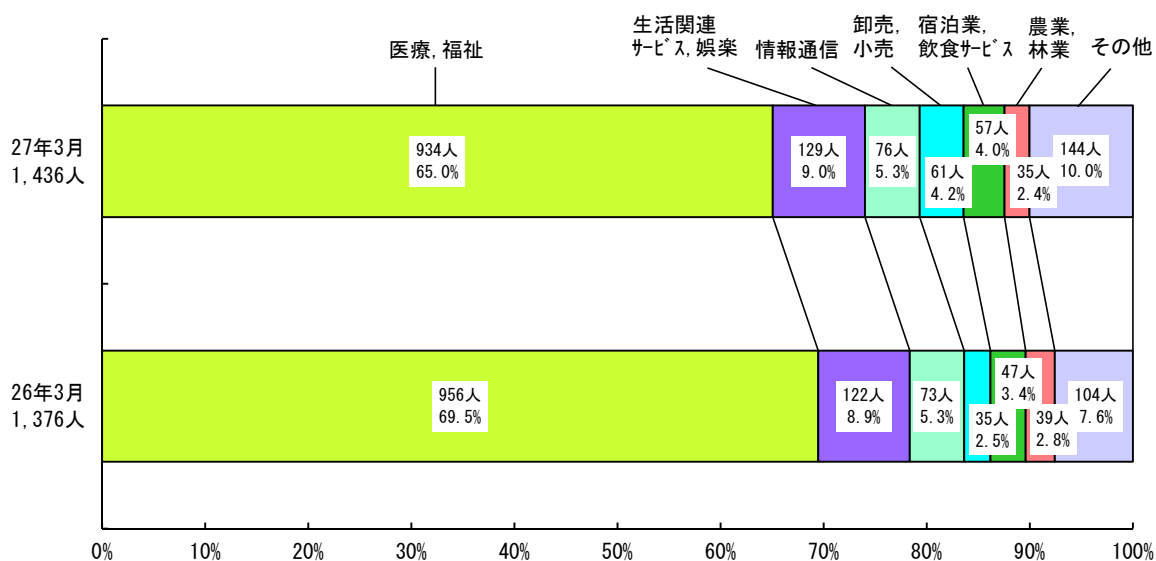


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

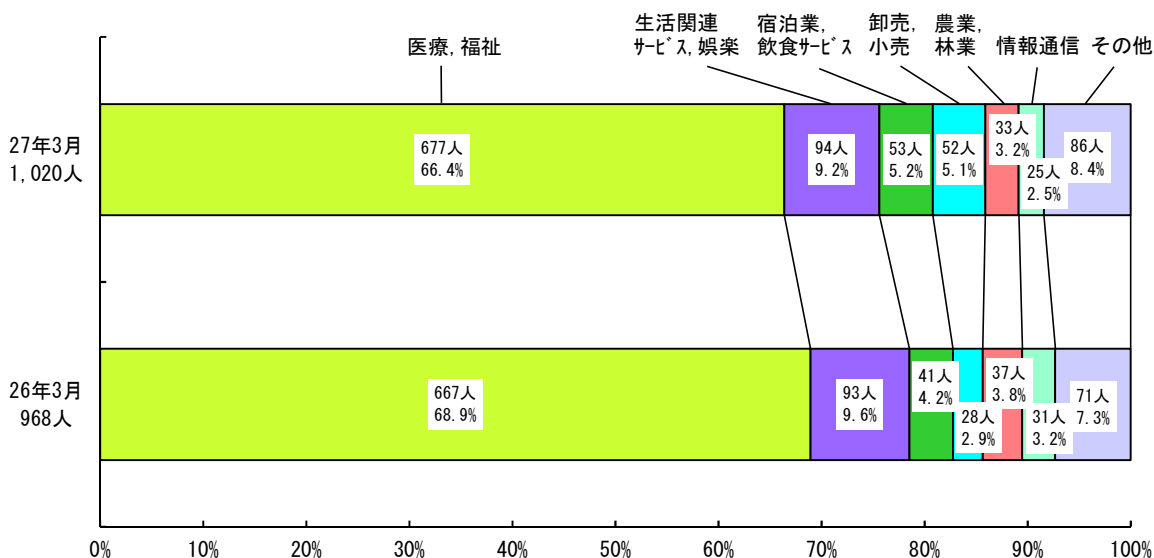


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,518	490	43	53	155	92	569	12	104
構成比		32.3	2.8	3.5	10.2	6.1	37.5	0.8	6.9
短期大学・ 高等専門学校	188	82	-	9	22	3	66	-	6
構成比		43.6	-	4.8	11.7	1.6	35.1	-	3.2
専修学校 (専門課程)	416	252	9	19	33	5	98	-	-
構成比		60.6	2.2	4.6	7.9	1.2	23.6	-	-
高等学校	701	291	2	49	111	86	143	2	17
構成比		41.5	0.3	7.0	15.8	12.3	20.4	0.3	2.4
合計	2,823	1,115	54	130	321	186	876	14	127
構成比		39.5	1.9	4.6	11.4	6.6	31.0	0.5	4.5

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。